

令和3年版 柏市死亡小票分析

令和4年3月31日

柏市保健福祉部 地域医療推進課

目次

Section.0	調査概要	P.2
Section.1	全死亡者数の推移	P.9
Section.2	死亡診断書・死体検案書発行数の内訳	P.12
Section.3	“看取り死”の推移	P.15
Section.4	自宅での“看取り死”の推移	P.21
Section.5	その他のデータ	P.27

調査概要及び人口データ

人口動態調査死亡小票の利用

- 人口動態調査死亡小票は、死亡診断書（死体検案書）のデータを基にした死亡統計である。厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用し独自に集計しているため、公表値とは一致しない場合がある。

【今回分析に用いた死亡小票上の項目】

- 性別
 - 生年月日
 - 死亡したとき
 - 死亡したところ
 - 死亡した人の住所
 - 死亡したところの種別
 - 死亡の原因
 - 死因の種類
 - 外因死の追加事項
 - その他特に付言すべきことから
 - 施設の所在地又は医師の住所及び氏名
- 今回の分析では、柏市保健所の死亡小票、平成23年1月～令和2年12月の10年間、35,465件のデータを分析にかけた。各年のデータ数は下記のとおりである。

平成23年	3,182件
平成24年	3,230件
平成25年	3,245件
平成26年	3,194件
平成27年	3,499件
平成28年	3,492件
平成29年	3,791件
平成30年	3,762件
平成31年	3,961件
令和 2年	4,109件

計 35,465件

人口動態調査死亡小票のサンプル

様式第2号（第6条関係）

数字記入欄
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

人口動態調査死亡票 2

統計法に基づく
基幹統計調査

市区町村番号及び保健所番号

事件簿番号

平成 年 月 日 市区町村交付

平成 年 月 日 保健所交付

性別

⑦ 7 7 3 7

(注) 氏名 (国) 生年月日 (年) 死亡したとき (年) 死亡したところ (市) 死亡した人の住所 (市) 死亡したところの種別 (市) 死亡の原因 (市) 死因の種類 (市) 外因死の追加事項 (市) その他特に付言すべきことから (市) 施設の所在地又は医師の住所及び氏名 (市)

死亡した人の種別

死亡したとき

死亡したところ

死亡したところの種別

死亡の原因

死因の種類

外因死の追加事項

その他特に付言すべきことから

施設の所在地又は医師の住所及び氏名

平成 年 月 日

平成 年 月 日

性別

年齢

出生時体重

産別・多胎の別

妊娠週数

死因の種類

出生時体重

産別・多胎の別

妊娠週数

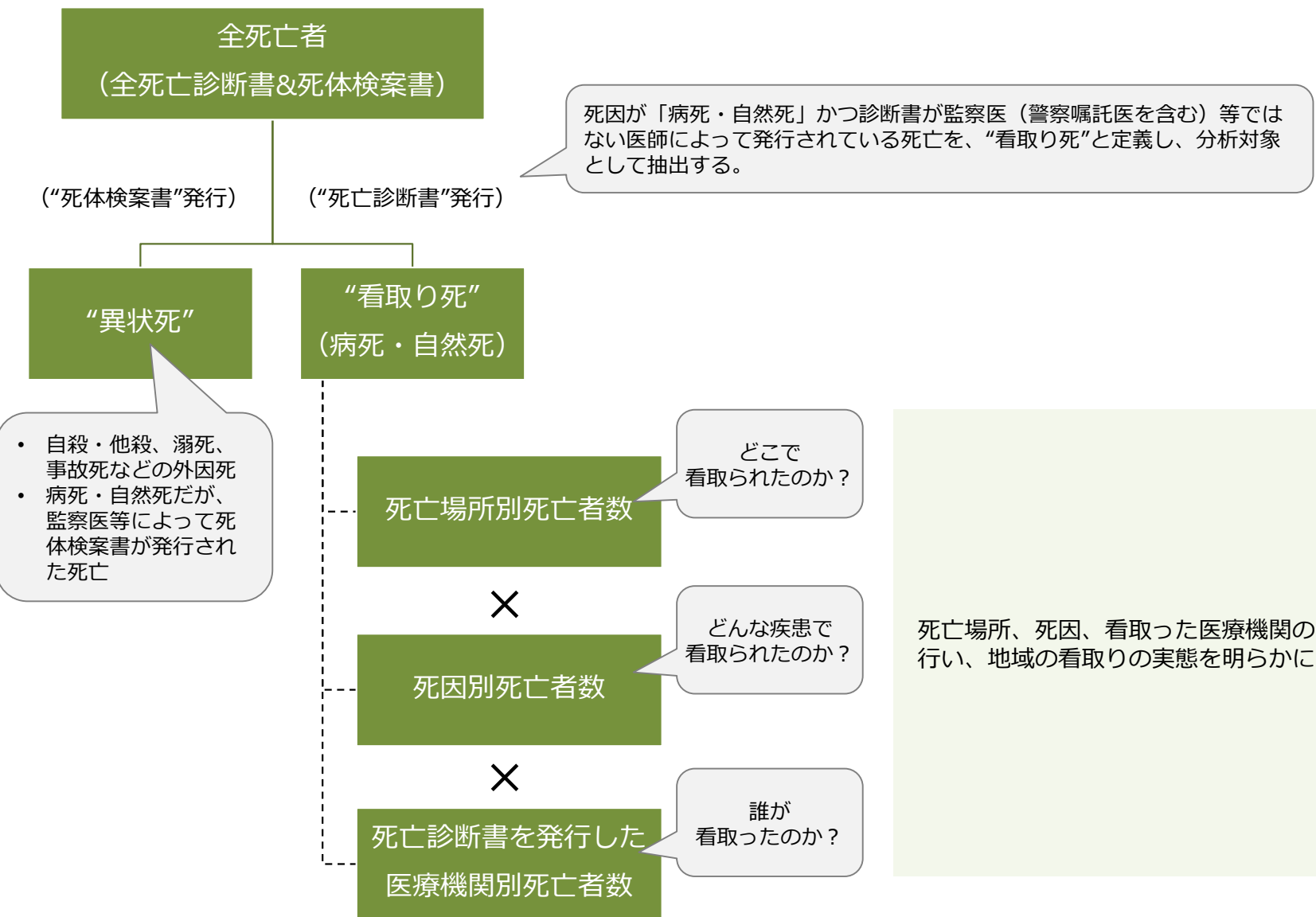
外因死の追加事項

その他特に付言すべきことから

施設の所在地又は医師の住所及び氏名

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。
この調査の対象となっていない市区町村には統計法に基づく報告の義務があり、報告の遅延や虚偽報告については罰則があります。
この調査の発給に当たっては、特に必要がある場合には、資料の提供のお願いや関係者の方々の命を重んじます。

死亡小票分析のイメージ



死亡場所、死因、看取った医療機関のクロス分析を行い、地域の看取りの実態を明らかにする。

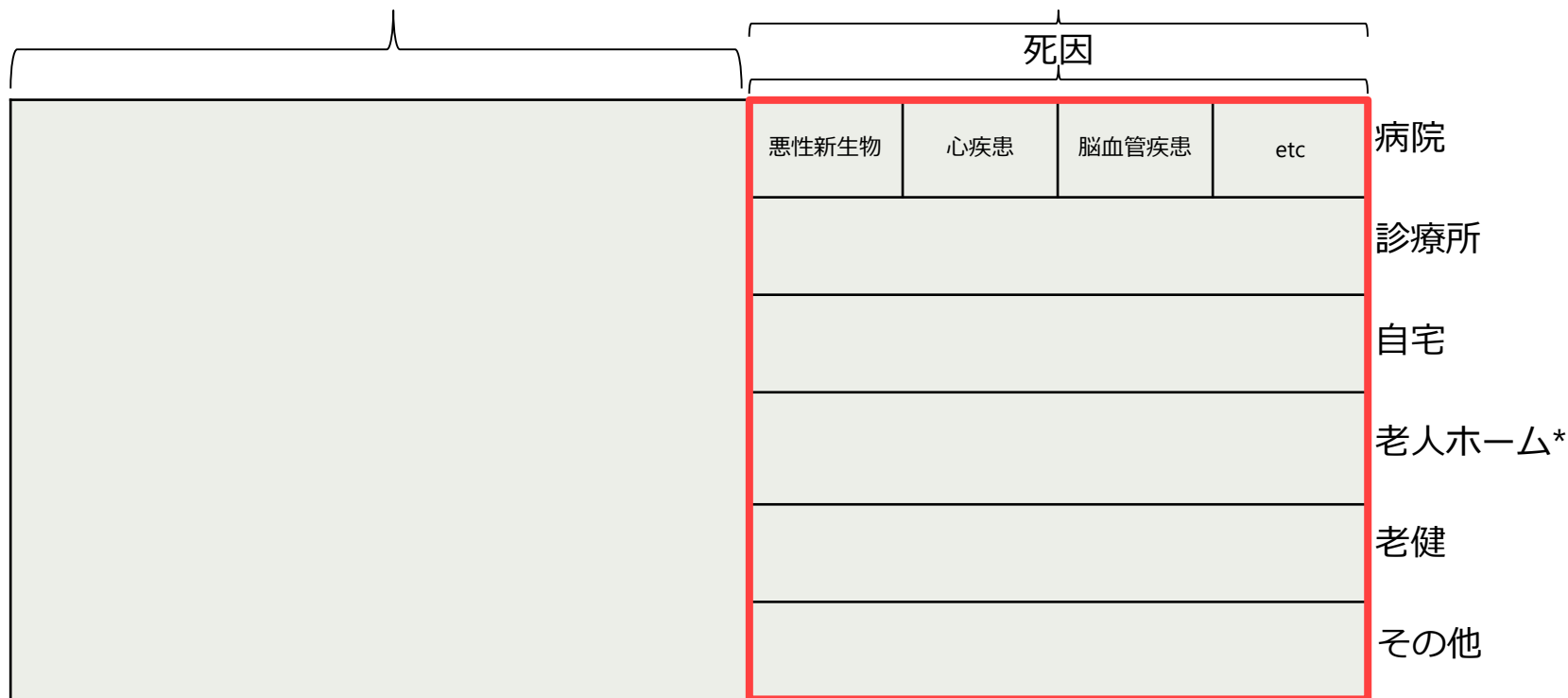
死亡小票データの見取り図

“看取り死”を主な分析対象とします

死亡分類

異状死
(死体検案書発行)

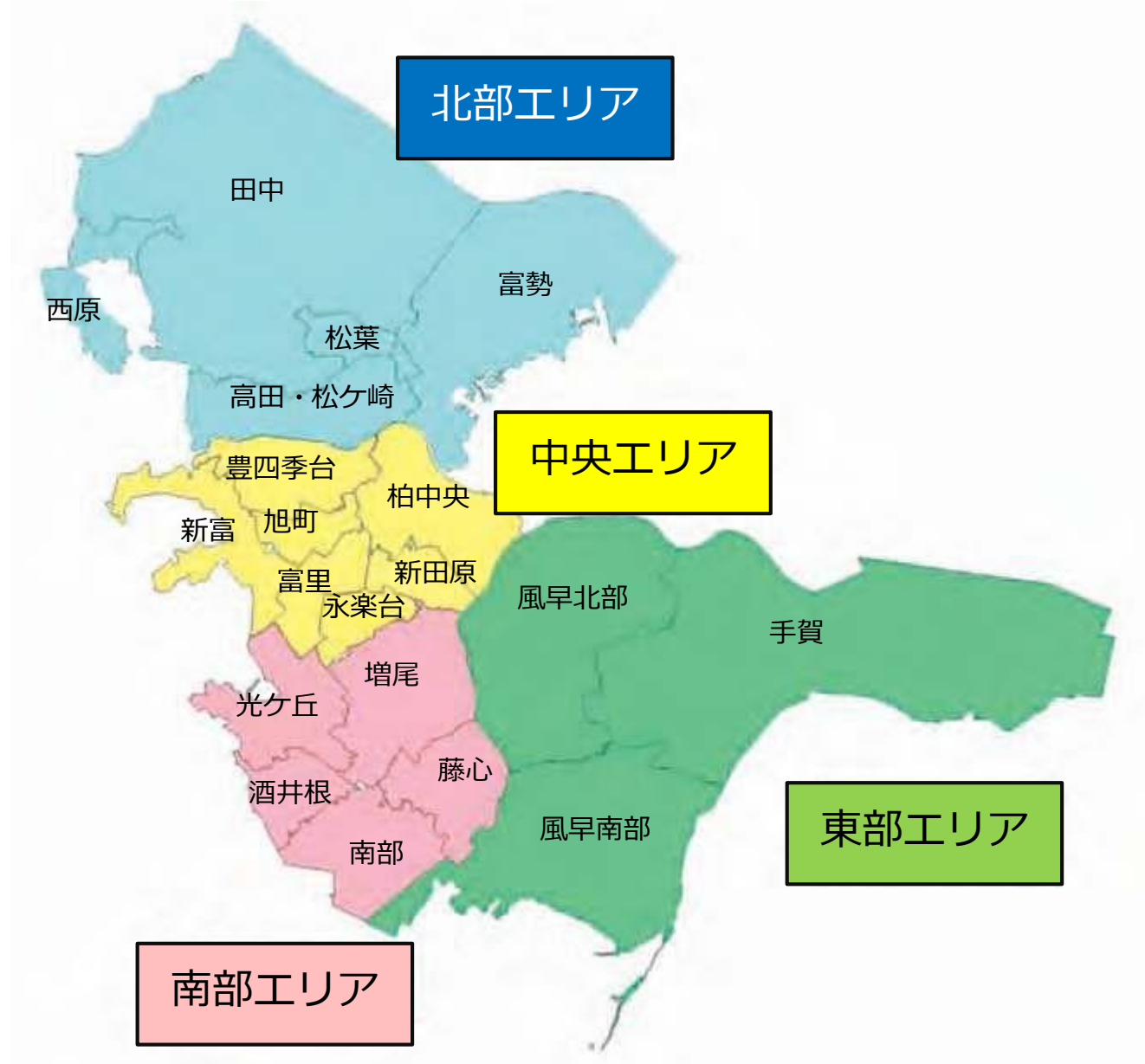
看取り死
(死亡診断書発行)



死亡した場所の種類

*老人ホームには、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム、サ高住、グループホーム、その他老人ホームを含む

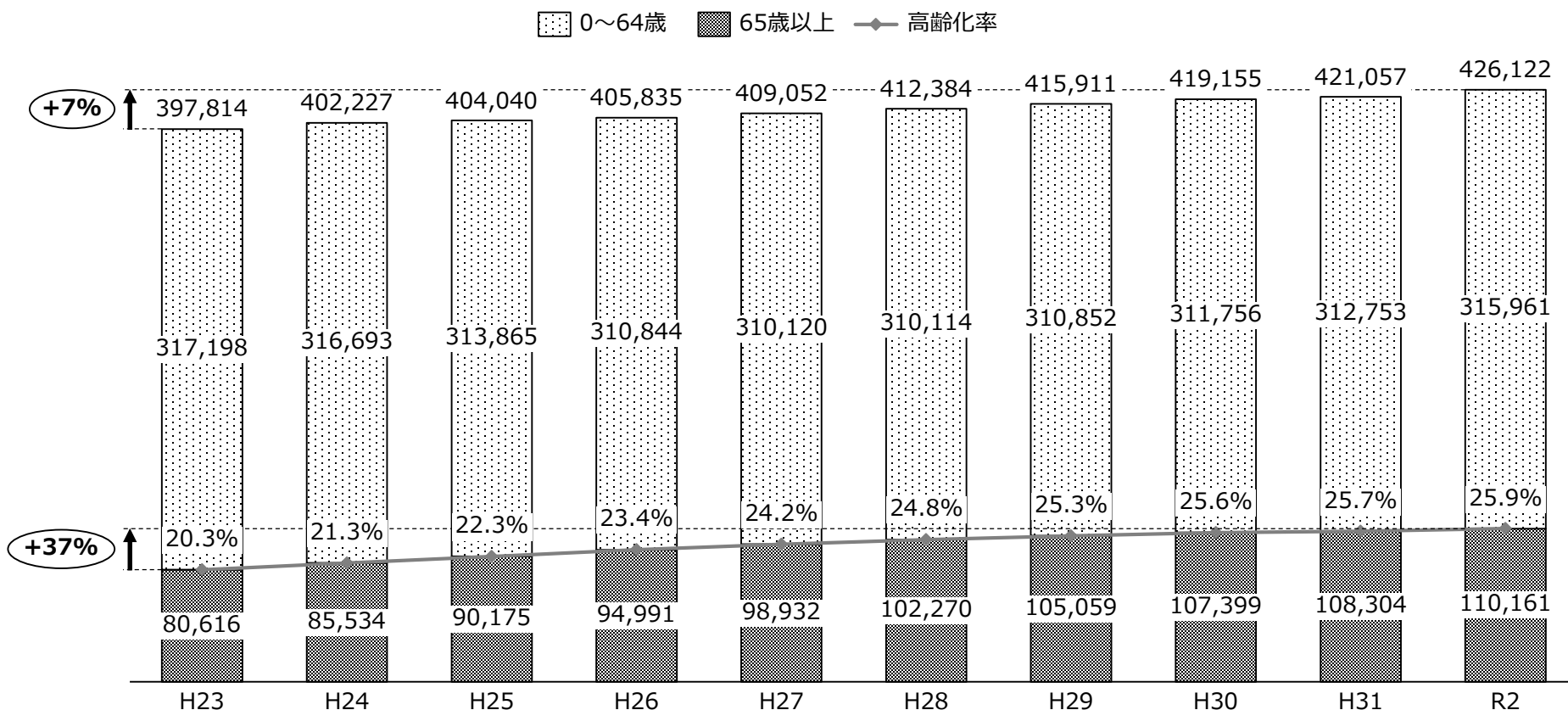
柏市のエリア（地域）の分け方



柏市の人口推移と高齢化率

- 人口は一貫して増加している。
- 平成23年から全体の人口は7%増加、特に65歳以上では37%増加した。

(単位：人)



柏市の人口推移と高齢化率（エリア別）

- 北部、中央エリアの人口は増加、南部、東部エリアは横ばいで推移している。
- 北部エリアを除き、高齢化率は上昇している。

北部

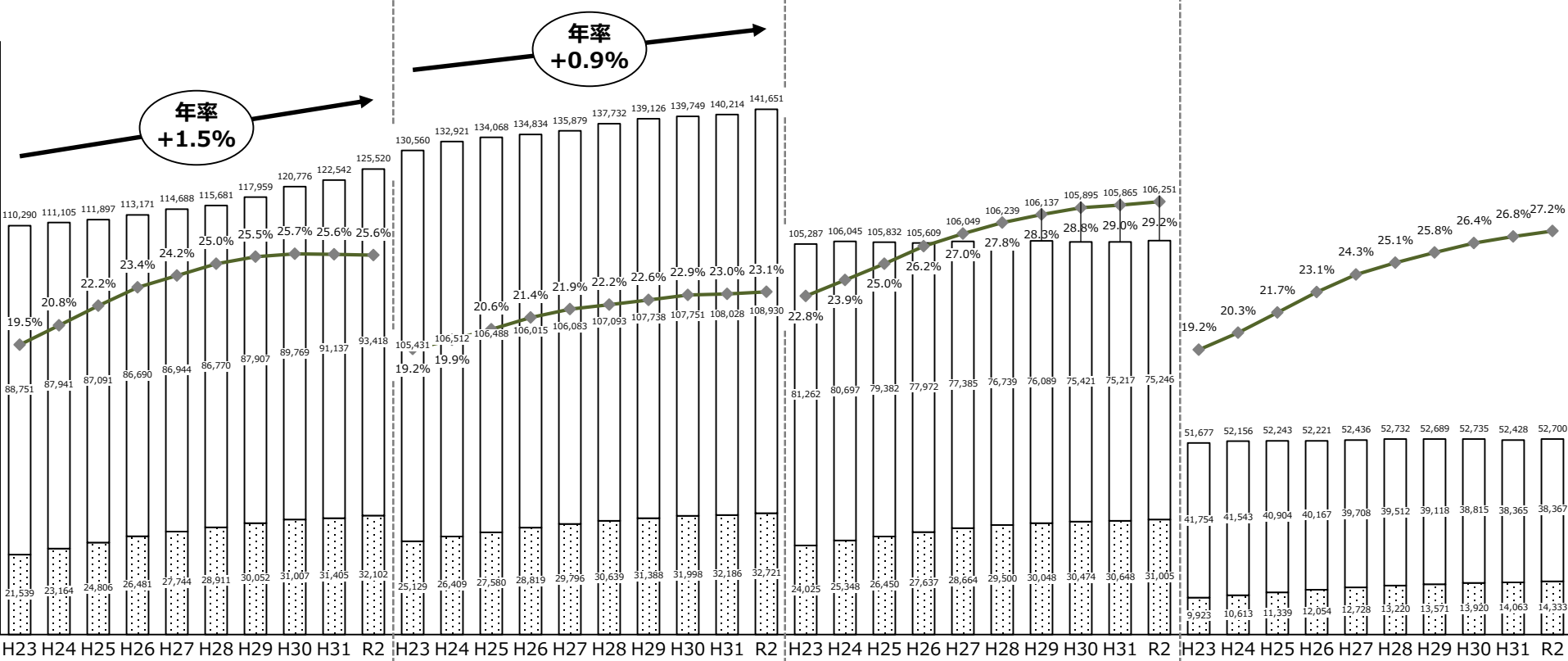
中央

南部

東部

□ 0~64歳 ▨ 65歳以上 ◆ 高齢化率

(単位：人)



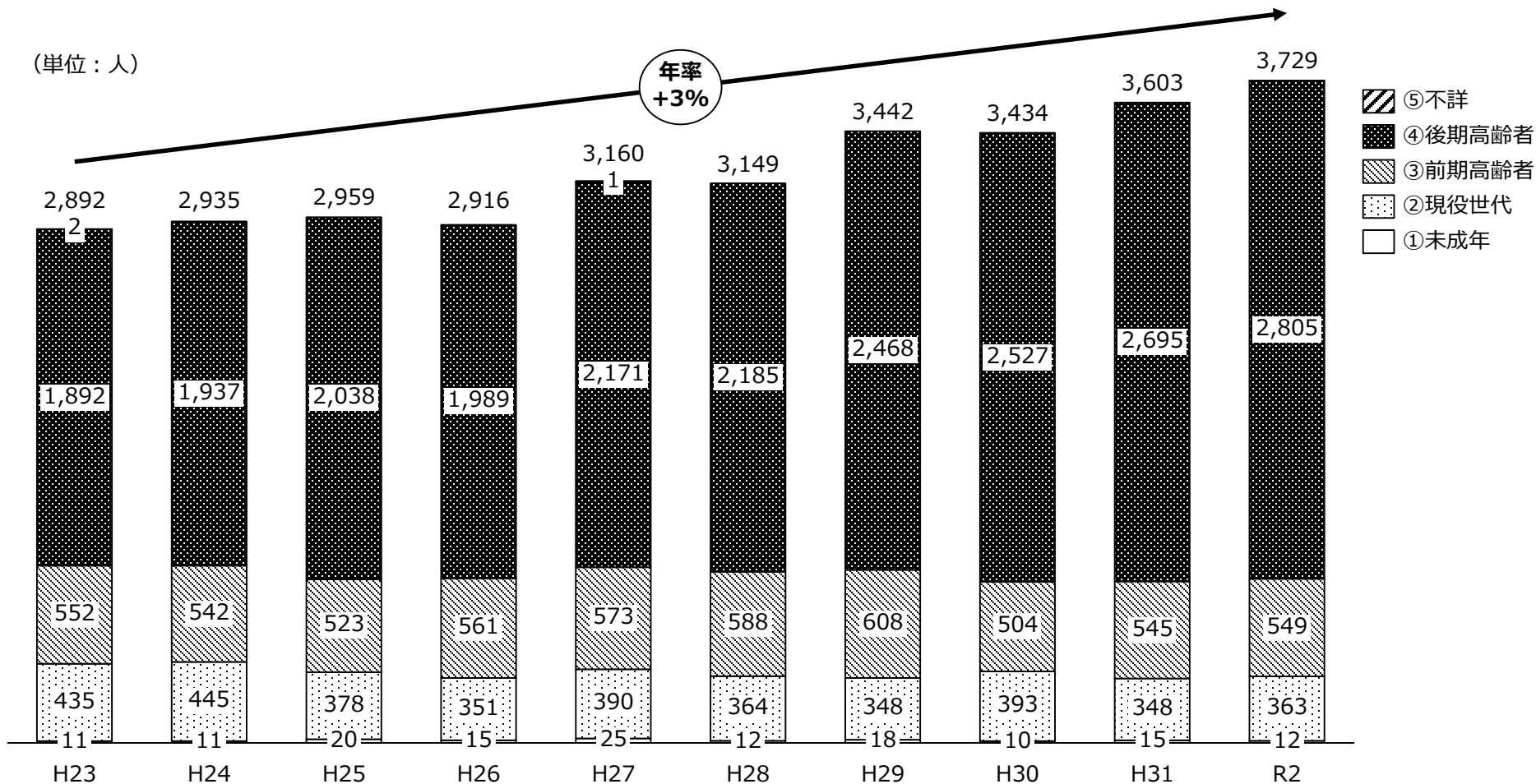
Section.1

全死亡者の推移

死亡者数の推移

- 死亡者数は増加傾向にあり、年率3%で増えている
- 増加分の大多数を後期高齢者が占めている。

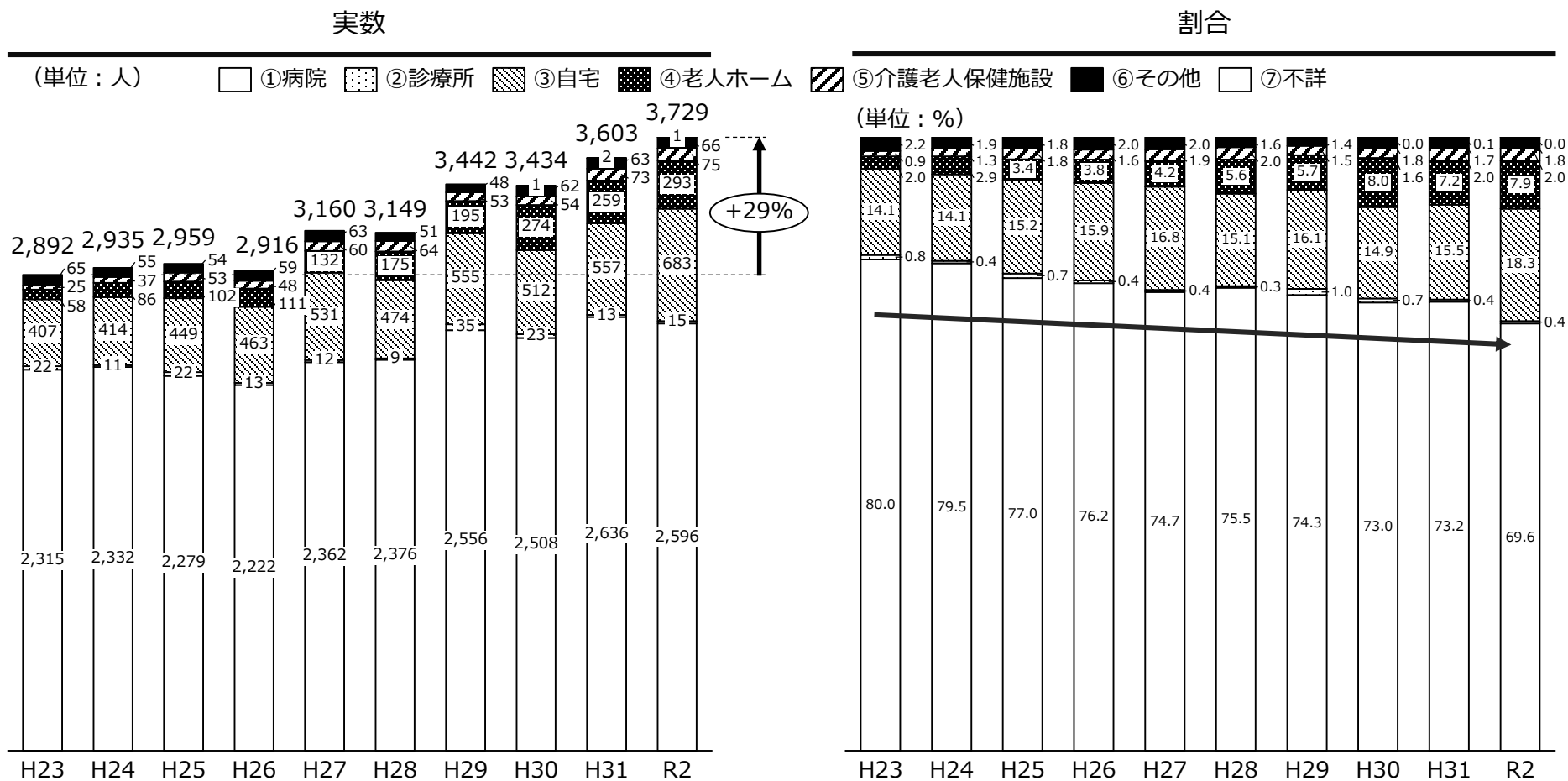
(単位：人)



*年齢区分は以下のように定義した。「①未成年：20歳未満」「②現役世代：20歳以上～65歳未満」、「③前期高齢者：65歳以上～75歳未満」、「④後期高齢者：75歳以上」

死亡場所別の死亡者数の推移

- 全体の死亡者数は平成23年と比較し約29%増加。なかでも、自宅での死亡者の割合が大幅に増加した。
- 割合を見ると、病院が減る一方で自宅と老人ホームが増えている。



死亡診断書・死体検案書の発行数の内訳

- 死亡診断書とは…

医師が“診察または診療した患者”について発行する「死亡の事実を証明する書類」で、死亡の届け出をする場合には、添付書類として必ず提出しなくてはならない。

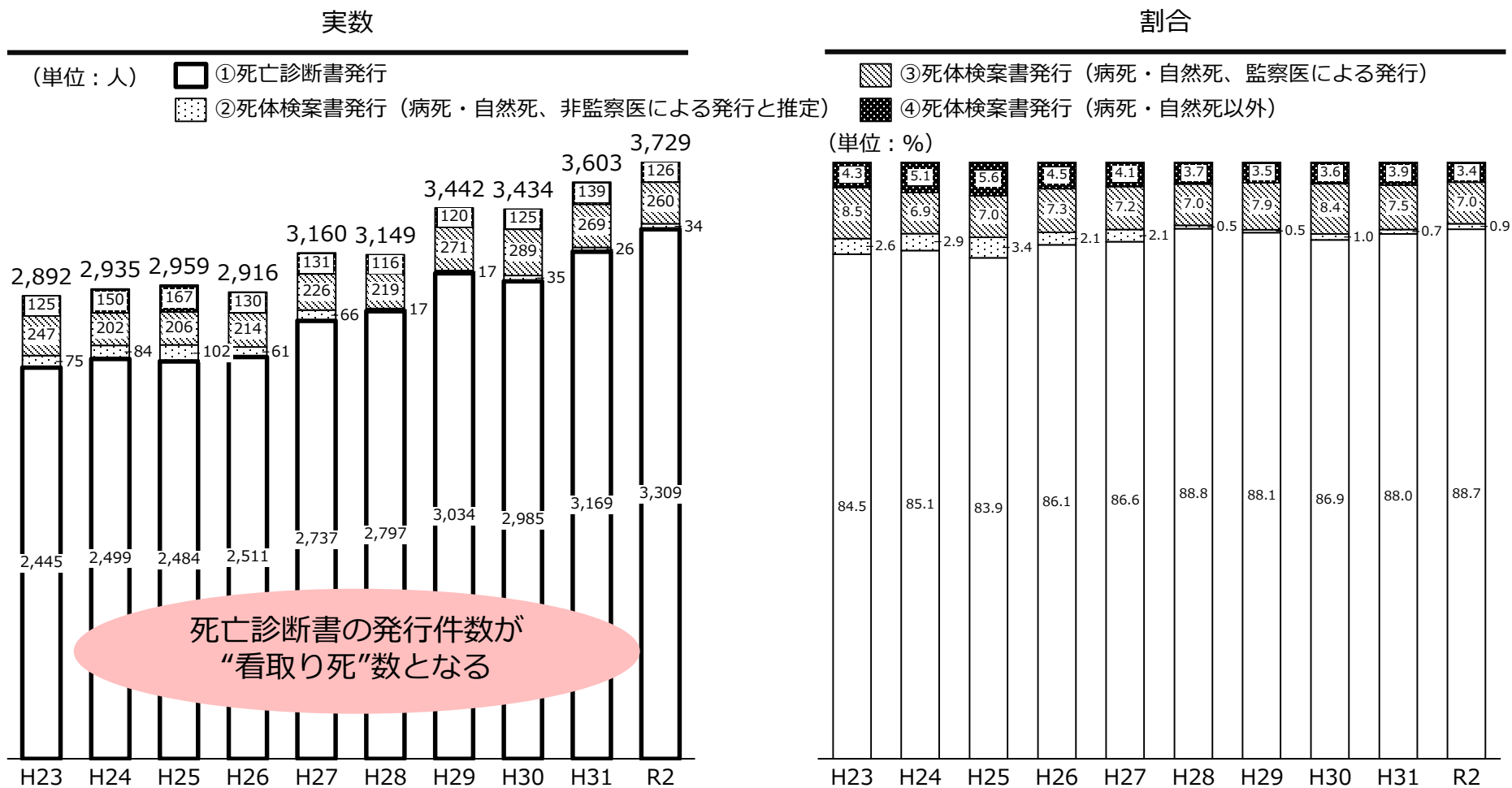
- 死体検案書とは…

医師が“生前から診療していない人”の死に対して、検案した一定の事実によって、その人の死亡を証明する文書のこと。死亡診断書が発行されない死亡にはすべて死体検案書が発行される。

(ともに小学館日本大百科全書より引用,一部改変)

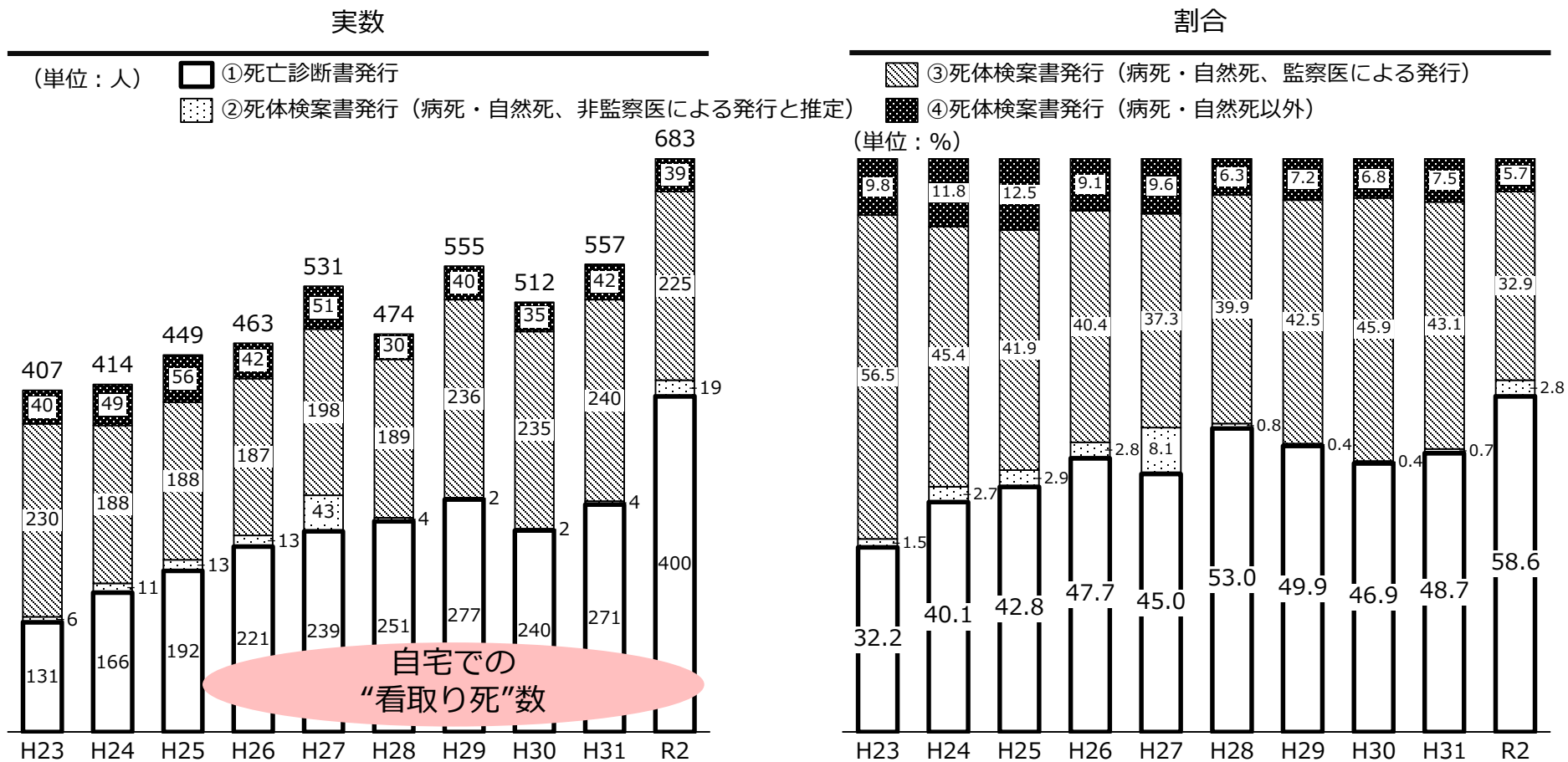
死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 全死亡における死亡診断書発行の割合は平成28年以降、88%前後で横ばいで推移している。



自宅死亡者の死亡診断書（死体検案書）発行数の推移

- 自宅での死亡者における“看取り死（①死亡診断書発行）”の数と割合は令和2年に大幅に増加している。



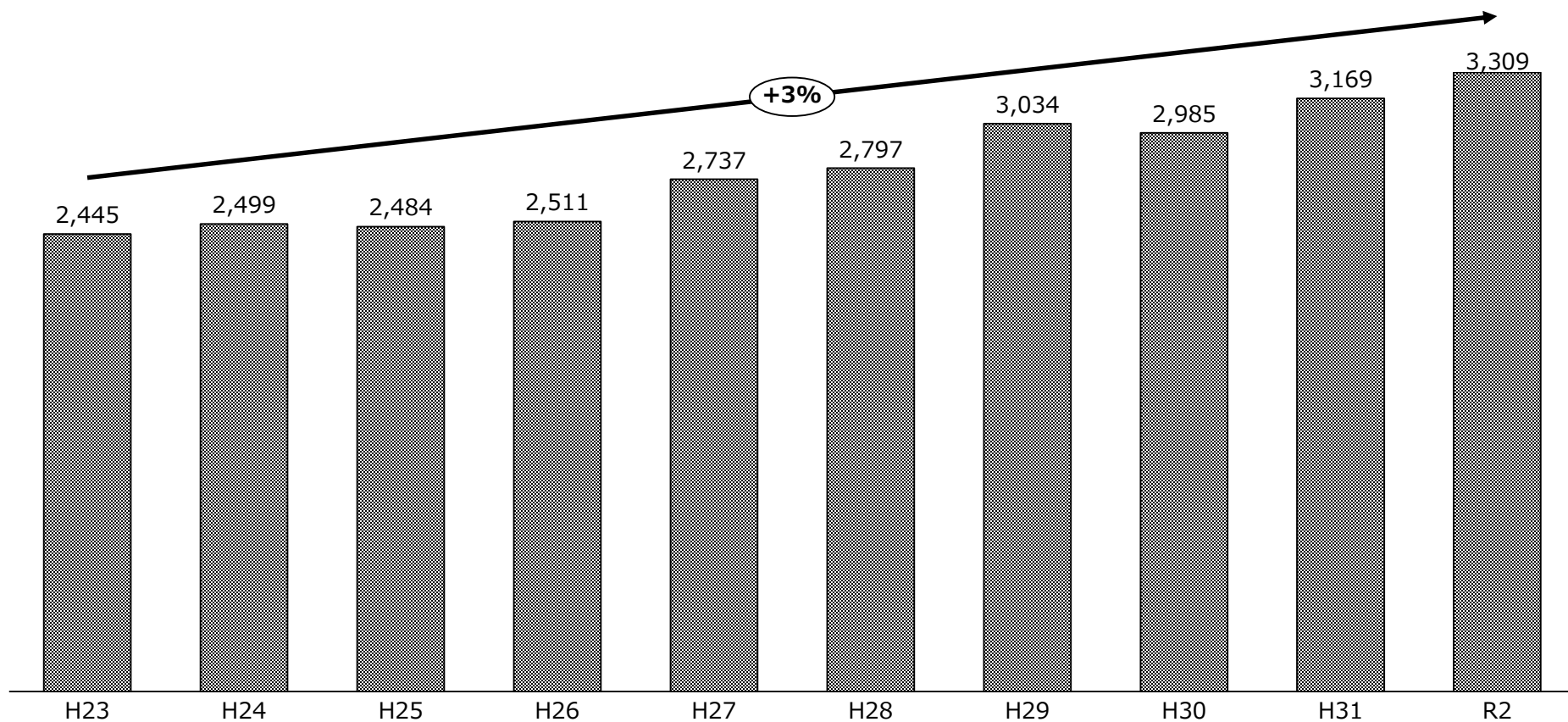
“看取り死”の推移

(以降の分析は、“看取り死を母集団とする)

“看取り死”数の推移

- “看取り死”数は増加傾向にあり、年率3%で増加している。

(単位：人)



死亡場所別の“看取り死”数の推移

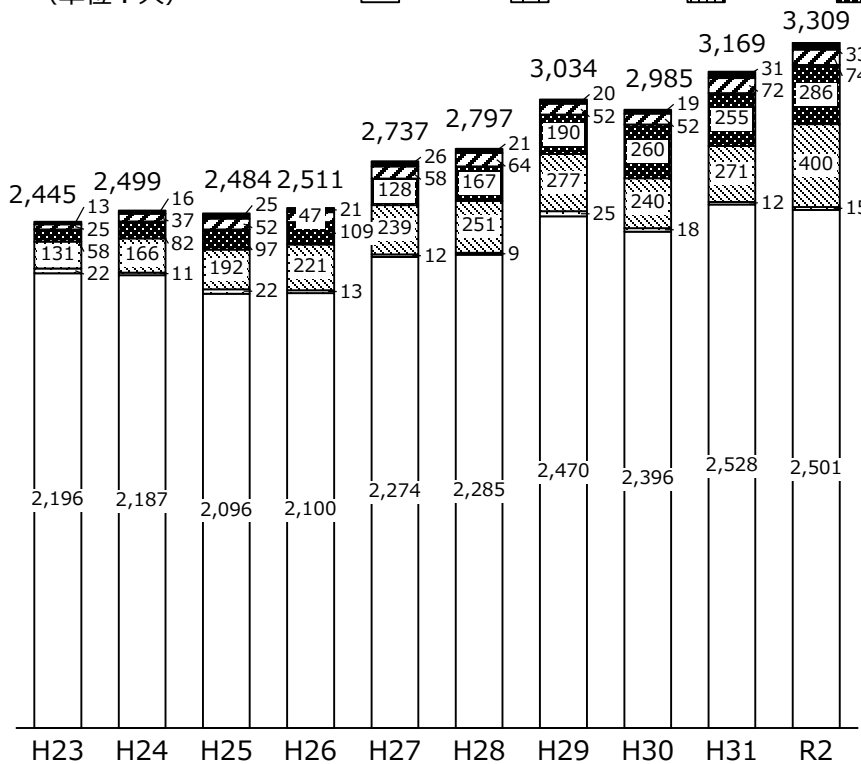
- 老人ホームでの“看取り死”数は増加傾向にあり、平成23年と比較して約4.9倍に増加した。
- 平成23年から令和2年にかけて病院の看取りの割合は14.2ポイント減少したのに対し、自宅と老人ホームの合計値は12.9ポイント増加。病院の減少分が自宅と老人ホームの増加分とほぼ等しくなっている。

実数

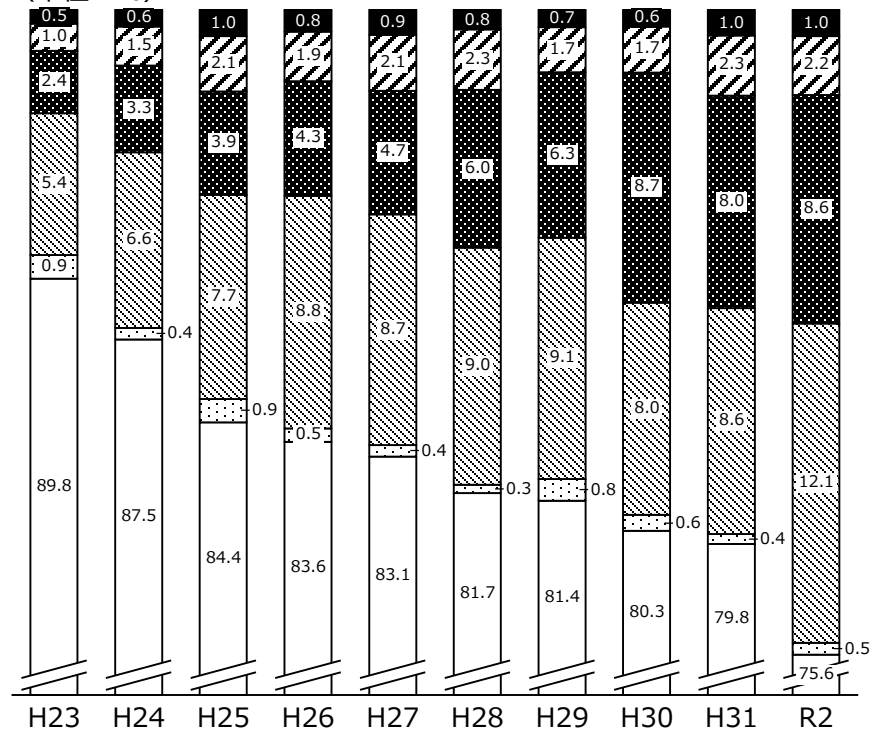
割合

(単位：人)

①病院 ②診療所 ③自宅 ④老人ホーム ⑤介護老人保健施設 ⑥その他

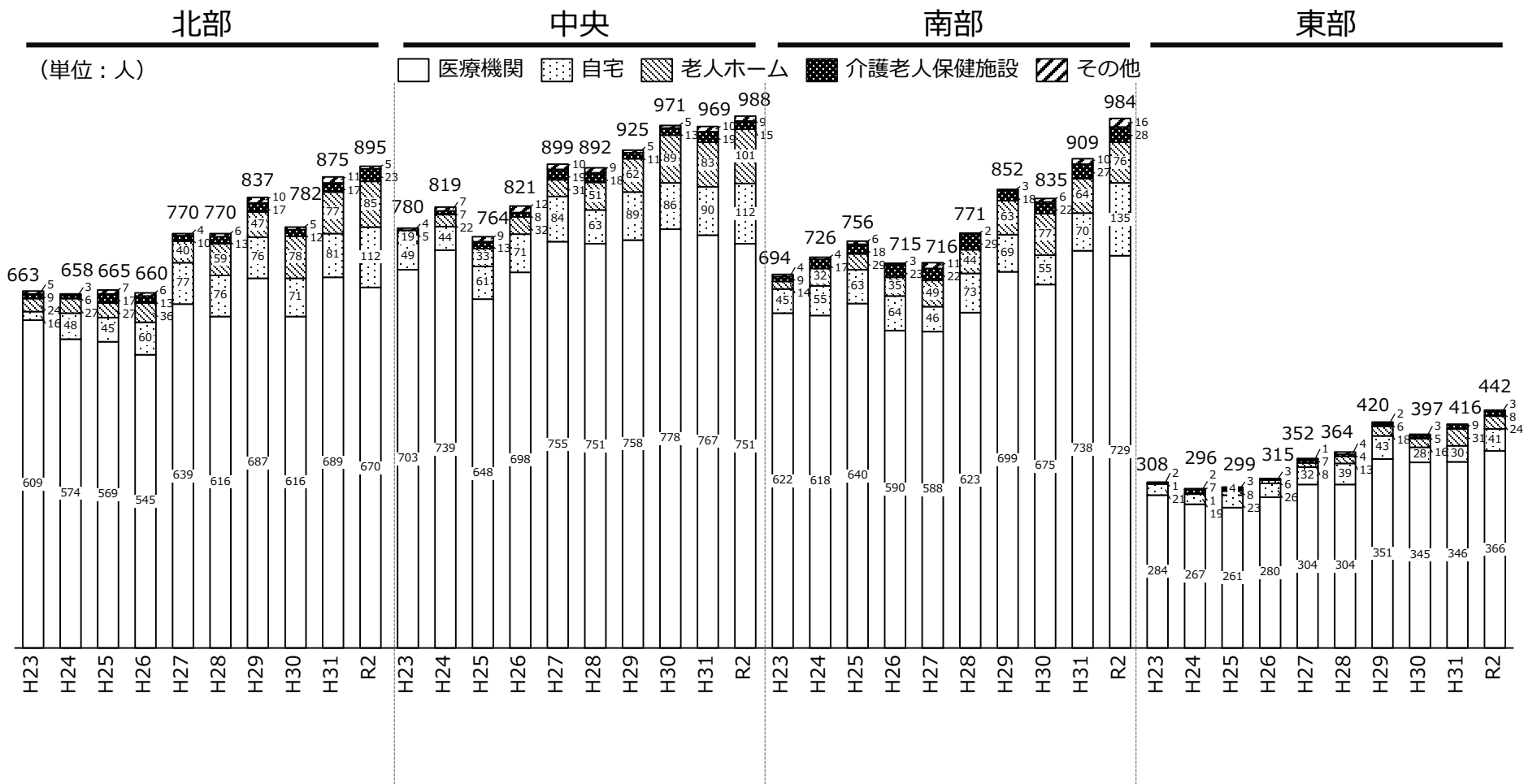


(単位：%)



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”数の推移

- どのエリアも“看取り死”は増加傾向。東部エリアは件数が少ないものの、全体の伸び率は他エリアと変わらない。9年間で北部エリアの自宅看取り件数が7倍に、東部エリアの老人ホーム看取り件数が24倍に増加している。



居住エリアごとの死亡場所別の“看取り死”割合の推移

- 北部・中央・南部エリアと比較すると、東部エリアは死亡場所別の“看取り死”の医療機関の占める割合が高い傾向がある。
- 東部エリアを除き、医療機関の“看取り死”の割合は低下、自宅・老人ホームの割合は増加傾向だった。

北部

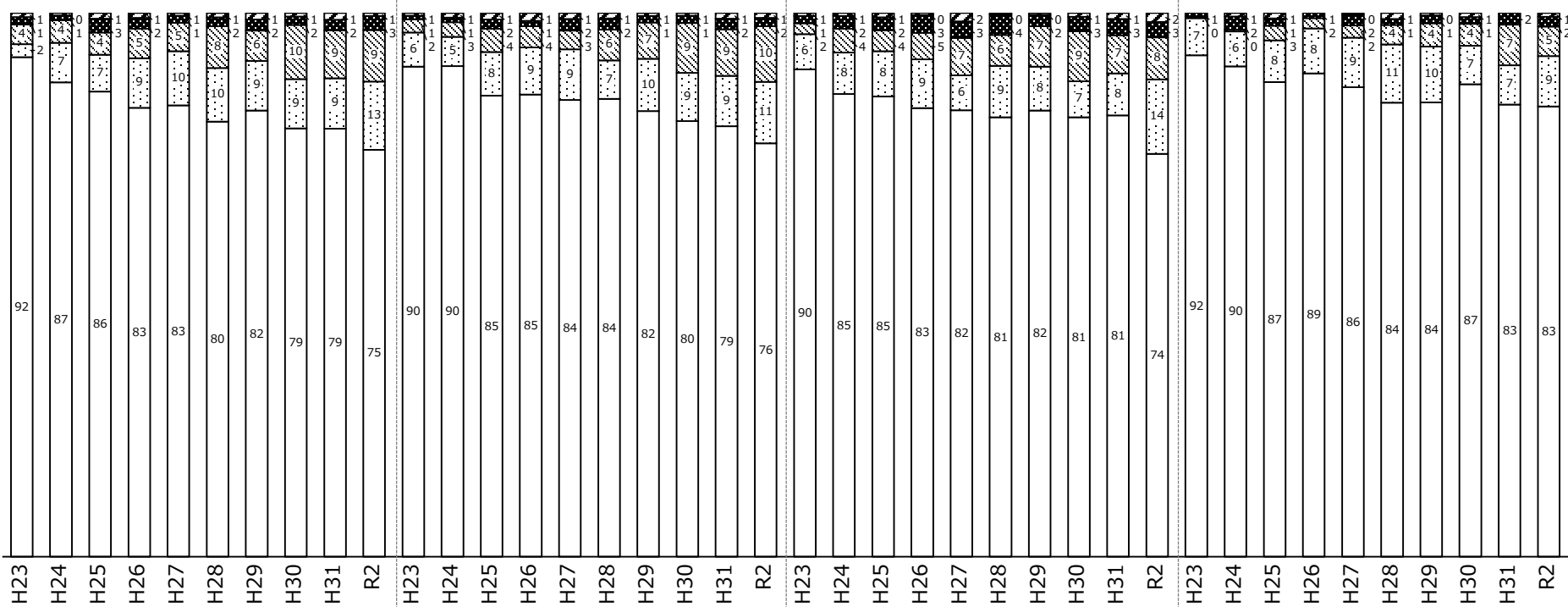
中央

南部

東部

(単位：%)

医療機関
 自宅
 老人ホーム
 介護老人保健施設
 その他



“看取り死”した方の死因の推移

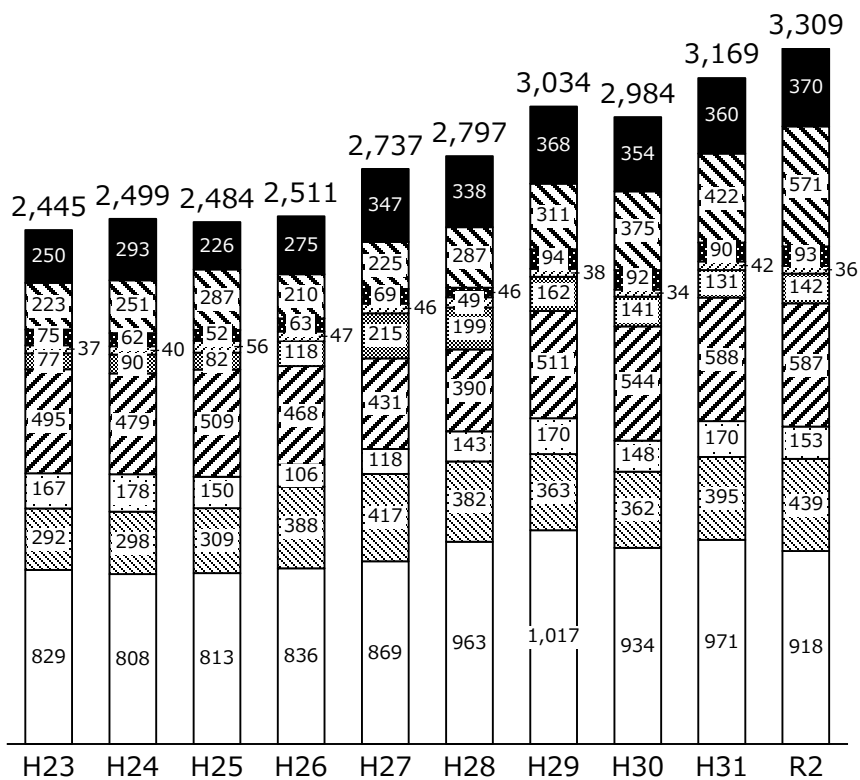
- H28年以降の直近5年を見ると、“看取り死”した方の死因の構成比率は老衰が増加、悪性新生物が減少傾向にある。

実数

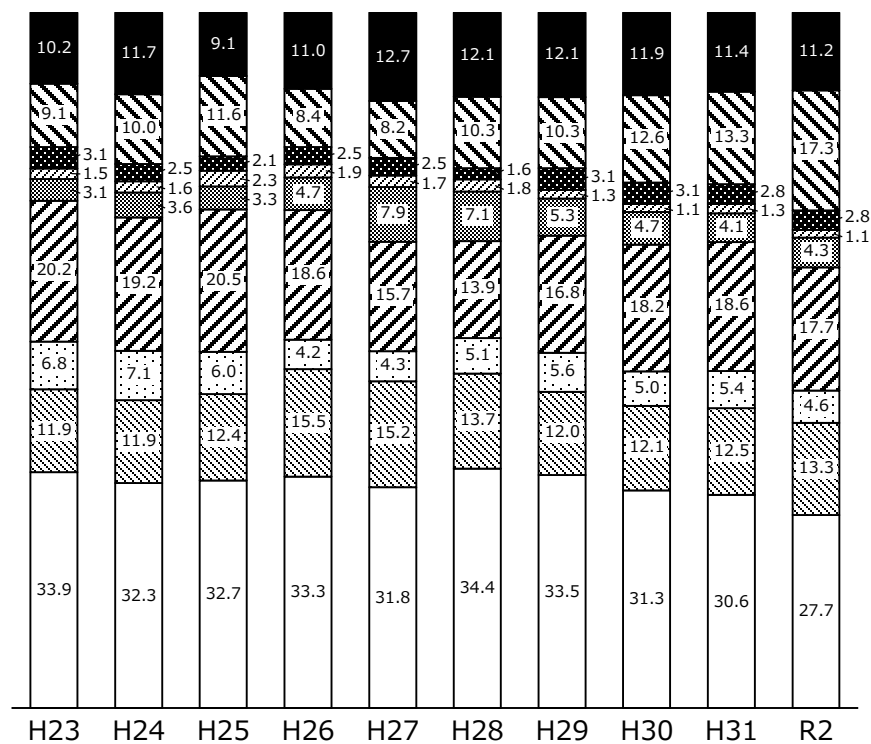
柏市民の全死亡に対する割合

(単位：人)

- ①悪性新生物
- ▤ ③脳血管疾患
- ▨ ⑤呼吸器疾患 (肺炎と5類を除く)
- ▩ ⑦腎疾患
- ⑨その他の死因
- ▧ ②心疾患
- ▦ ④肺炎
- ▩ ⑥肝疾患
- ▨ ⑧老衰 (認知症を含む)



(単位：%)

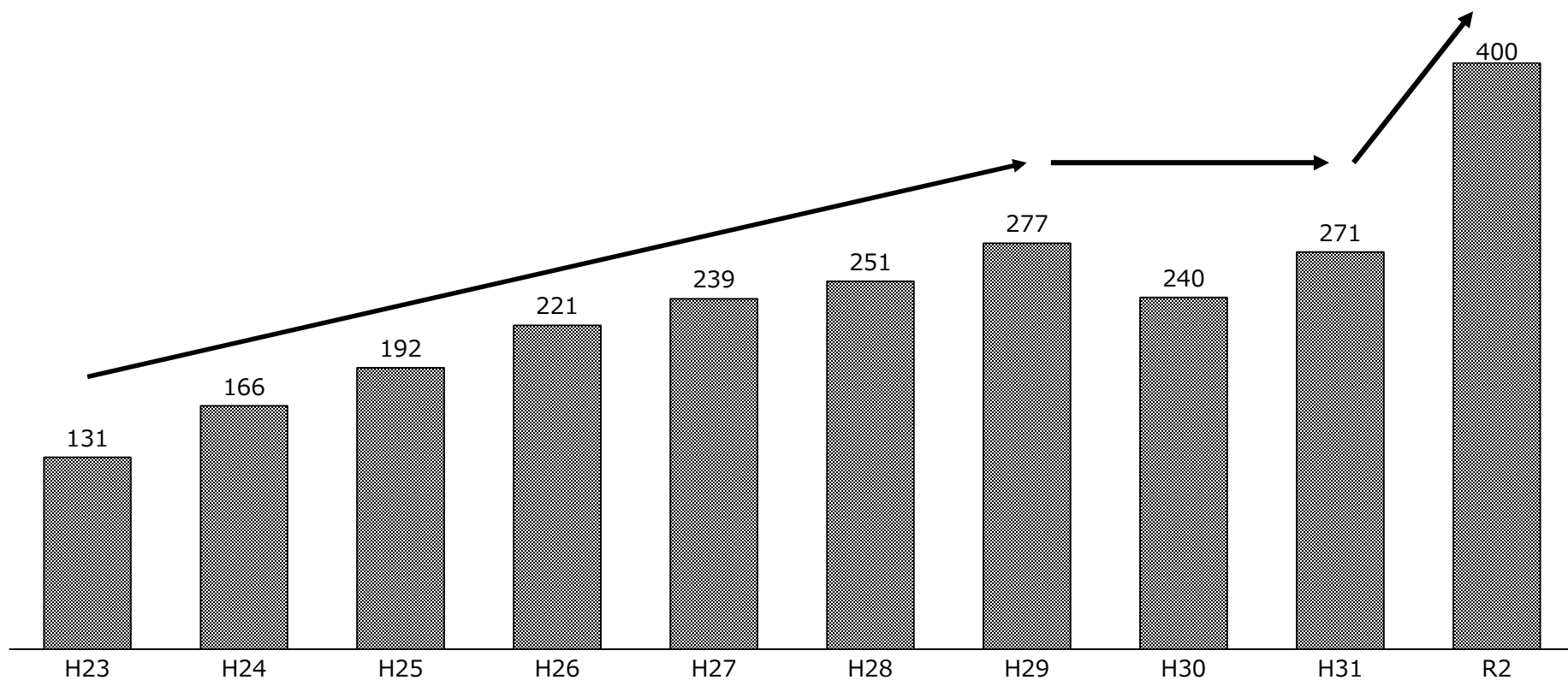


自宅での“看取り死”の推移

自宅での看取り件数の推移

- 自宅での“看取り死”数は平成29年まで増加、その後は平成31年まで横ばいで推移していたが、令和2年にかけて急増した。

(単位：人)

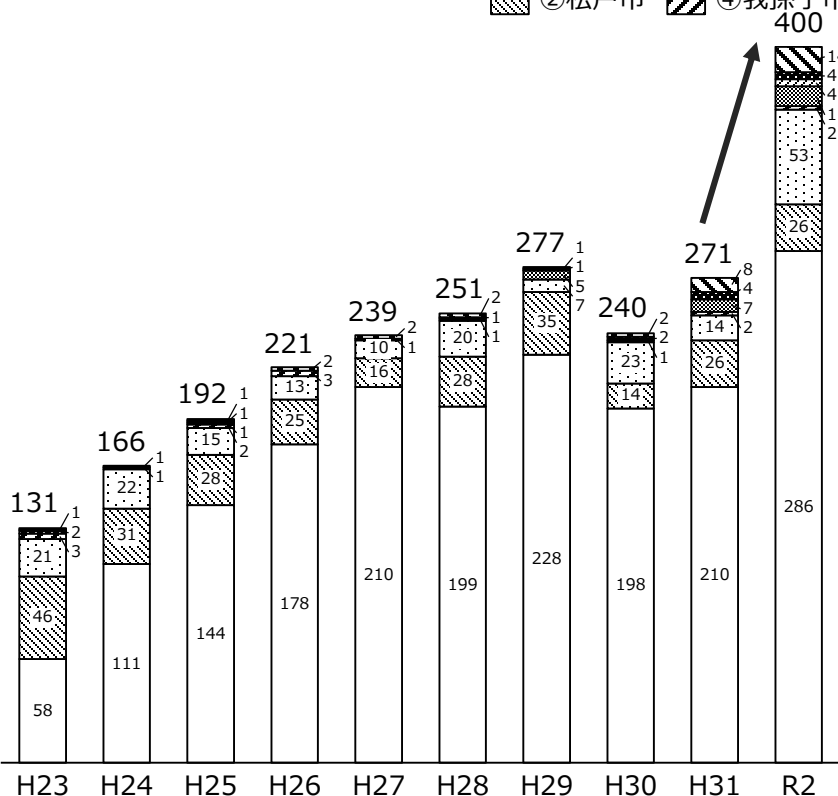
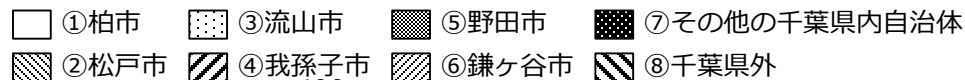


医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移

- 自宅での看取り件数は平成31年から令和2年にかけて急増した。柏市・流山市の医療機関による看取り件数が増加した影響が大きい。
- 柏市内医療機関による看取りの割合は平成30年以降減少傾向。

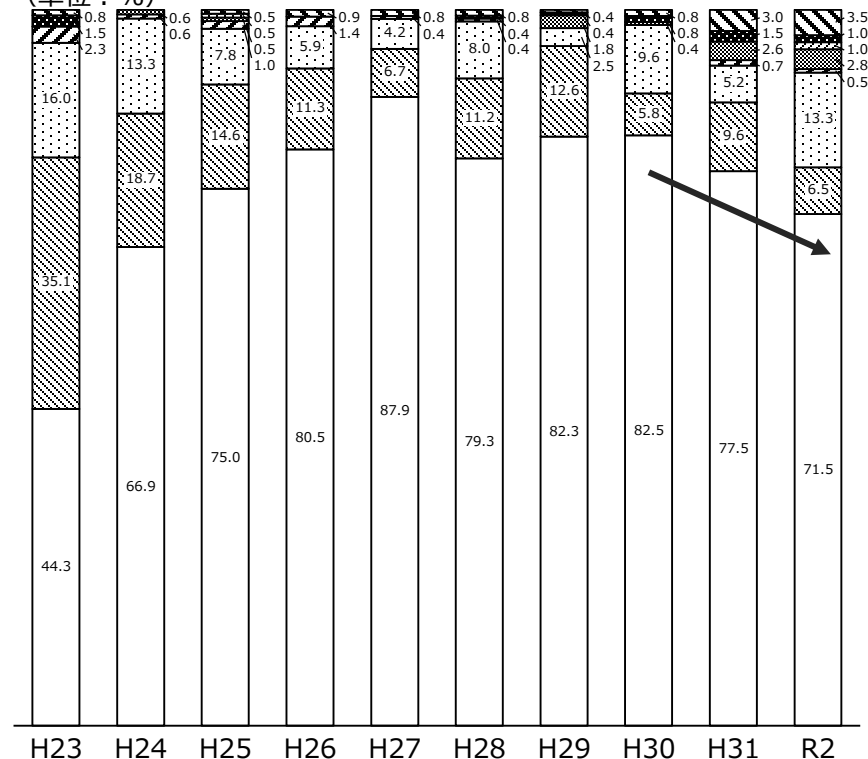
実数

(単位：人)



割合

(単位：%)



死因別・医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移（1/2）

- 柏市内の医療機関によるがん看取りの件数は、増減を繰り返しながら増加している。
- 令和2年は、流山市における老衰が大きく増加している。

H23年

H24年

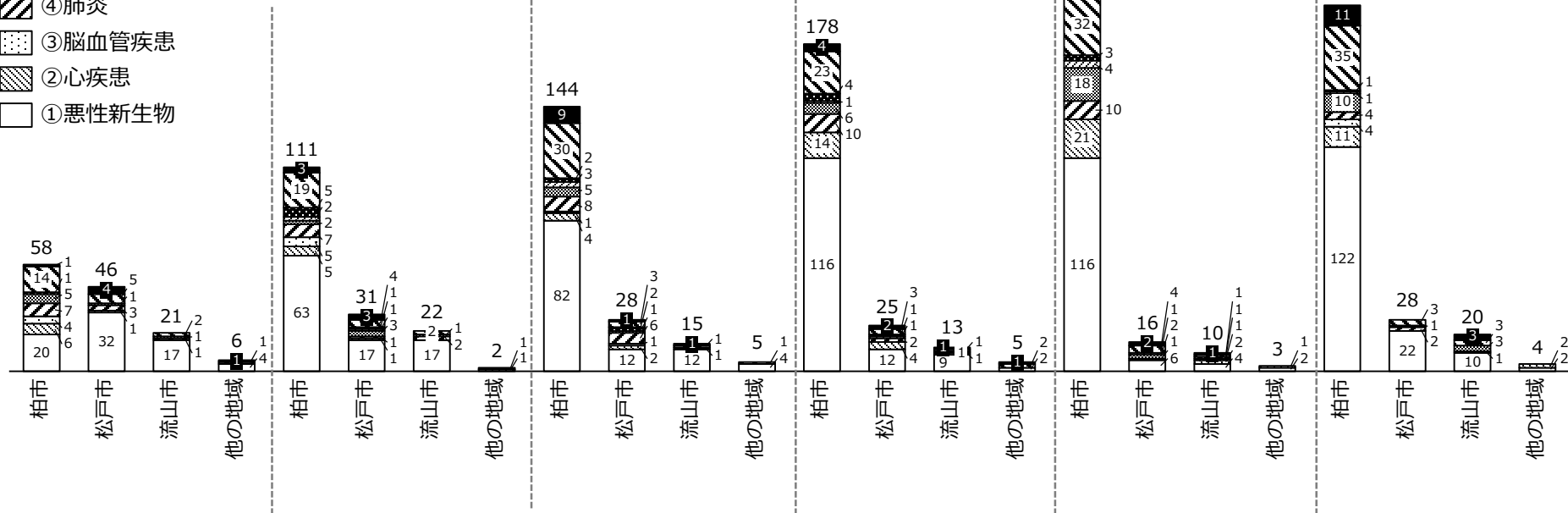
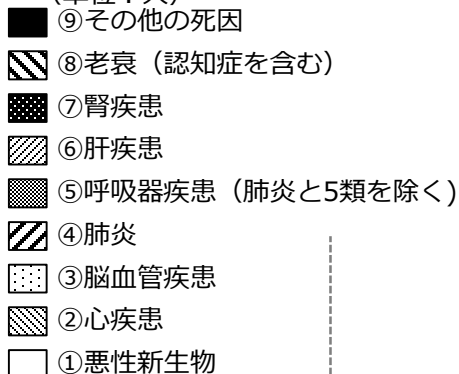
H25年

H26年

H27年

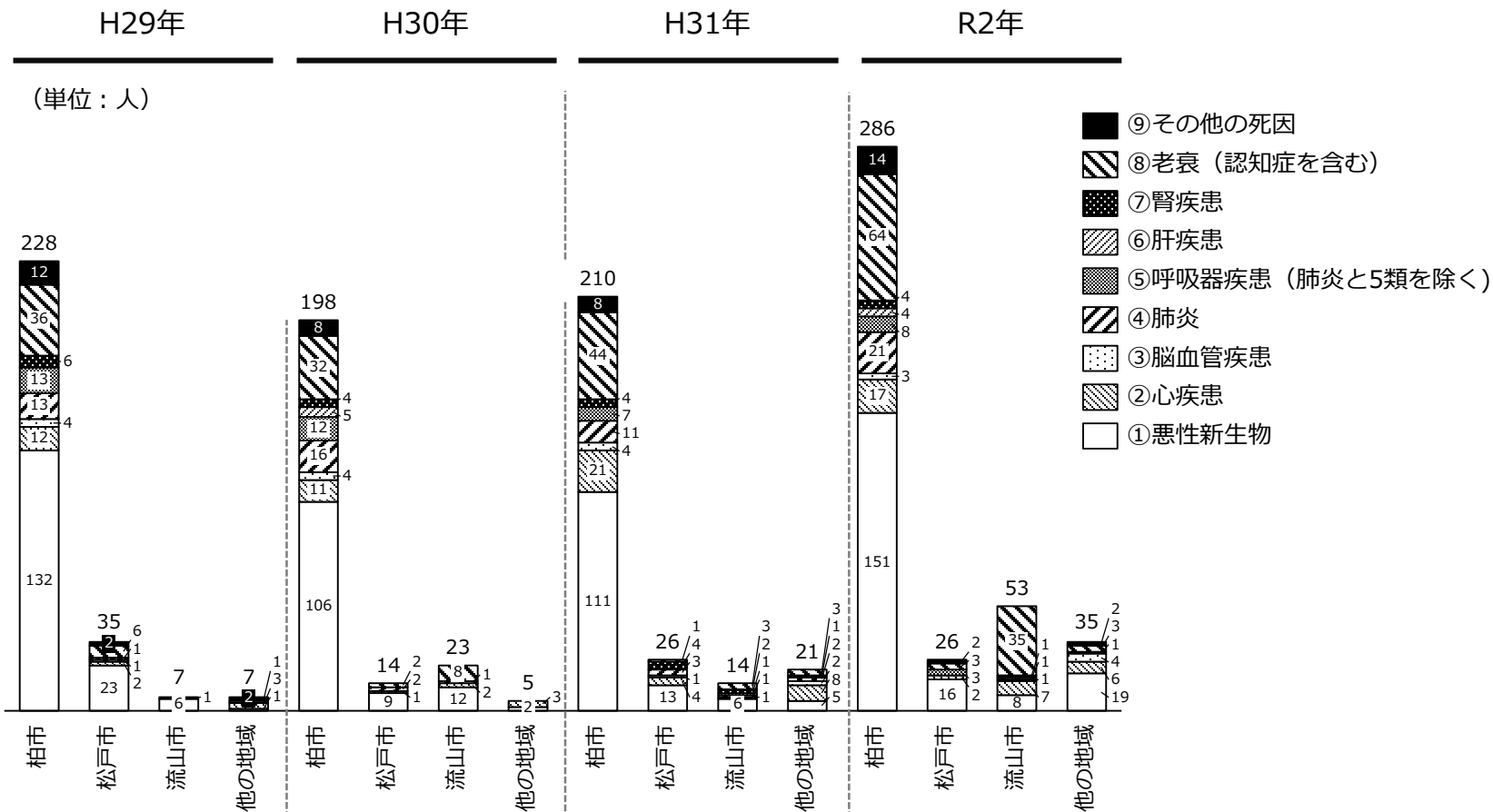
H28年

(単位：人)



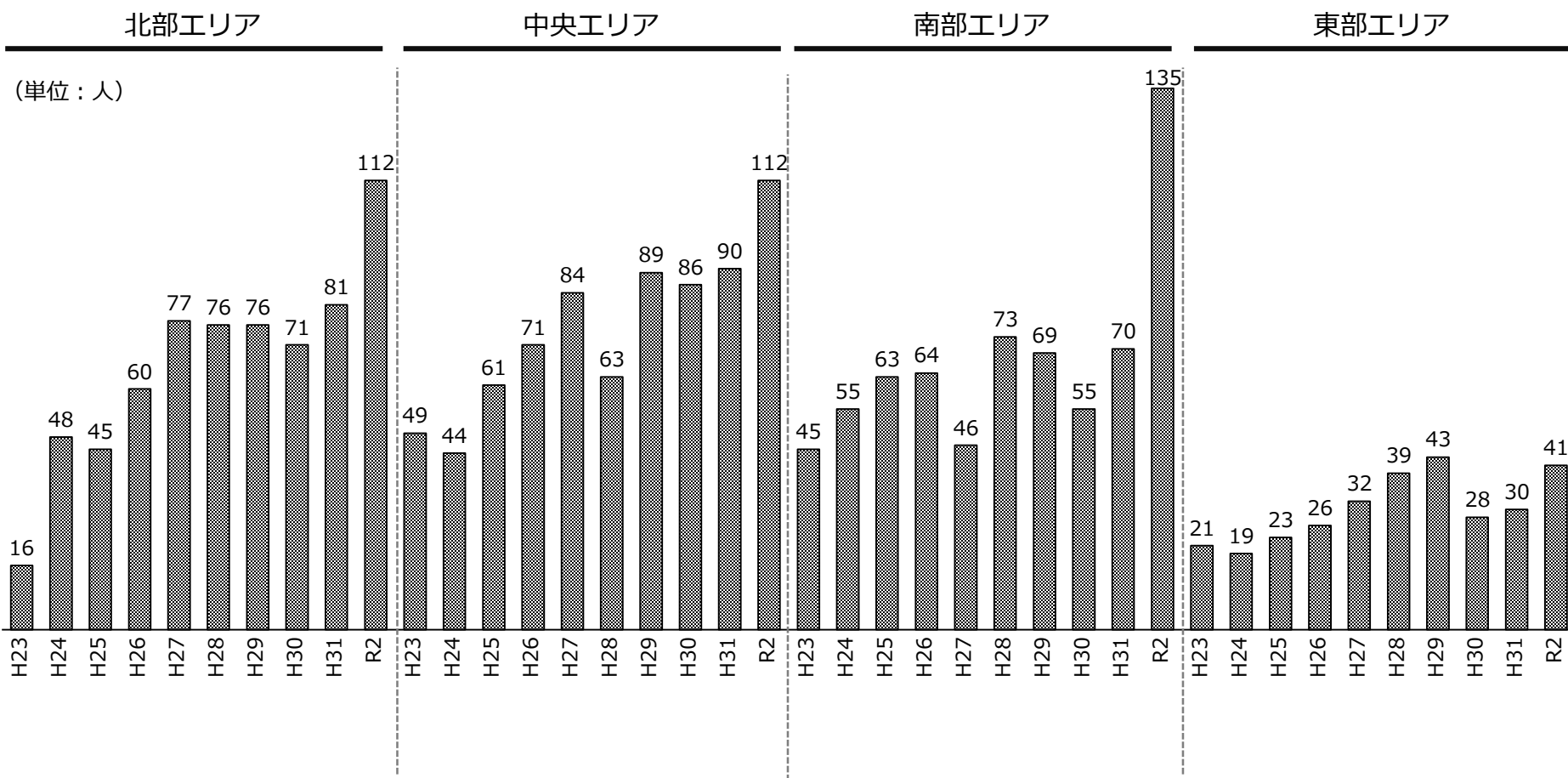
死因別・医療機関の立地別の自宅看取り件数の推移（2/2）

（前のページの続き）



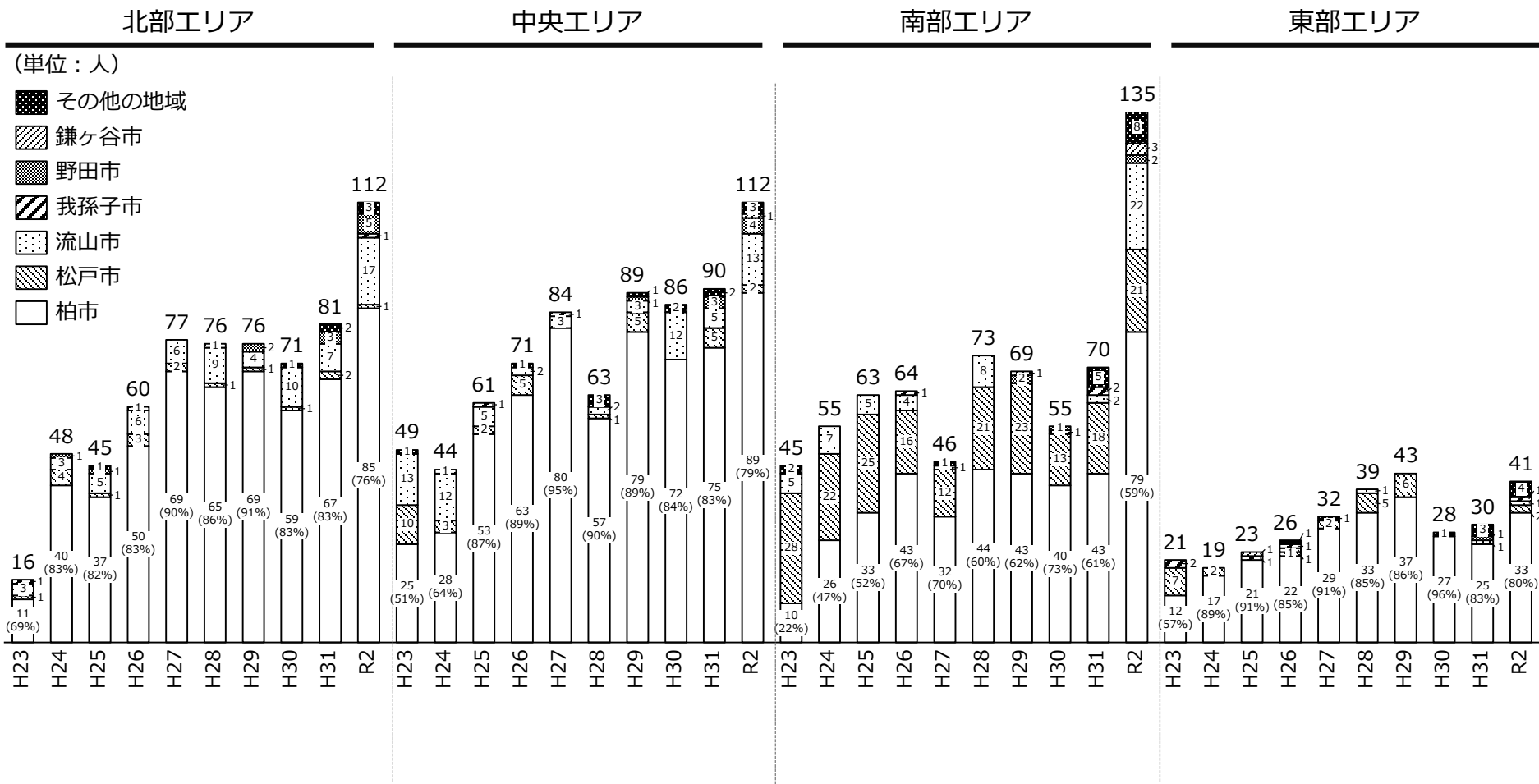
市内のエリア別の自宅“看取り死”数の推移

- 自宅“看取り数”は微増傾向にあったが、平成31年から令和2年にかけて南部エリアは“看取り数”が倍増、北部エリア、中央エリア、東部エリアも増加している。



市内居住エリアと看取った医療機関所在地のクロス分析

- 南部エリアの看取りの市内完結率は他のエリアよりも低い傾向があり、流山市・松戸市の医療機関による看取りが多くなっている



その他のデータ

医療機関の立地別の医療機関での看取り件数の推移

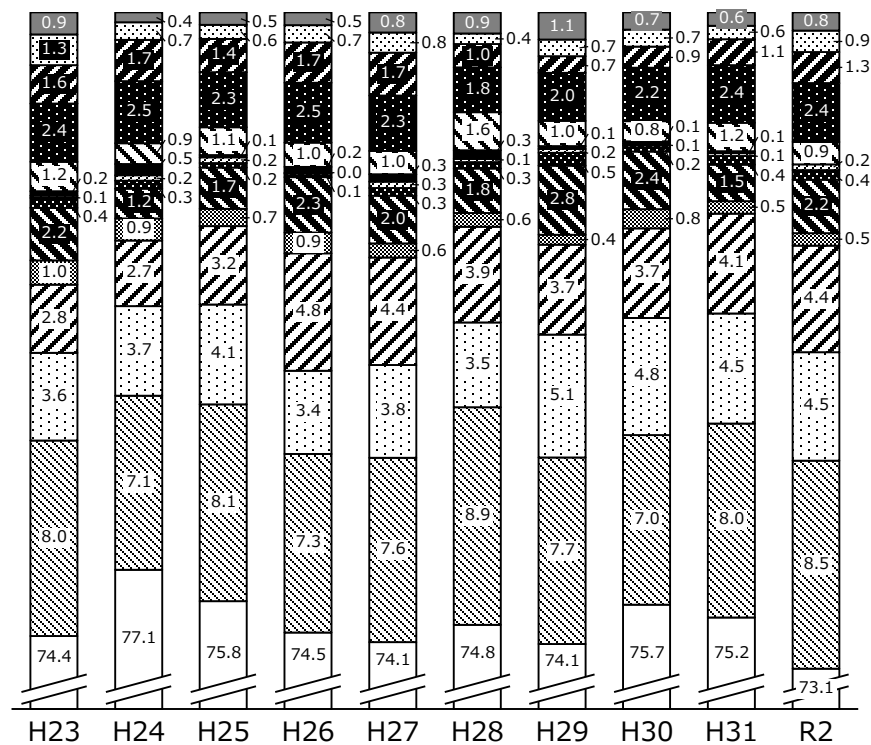
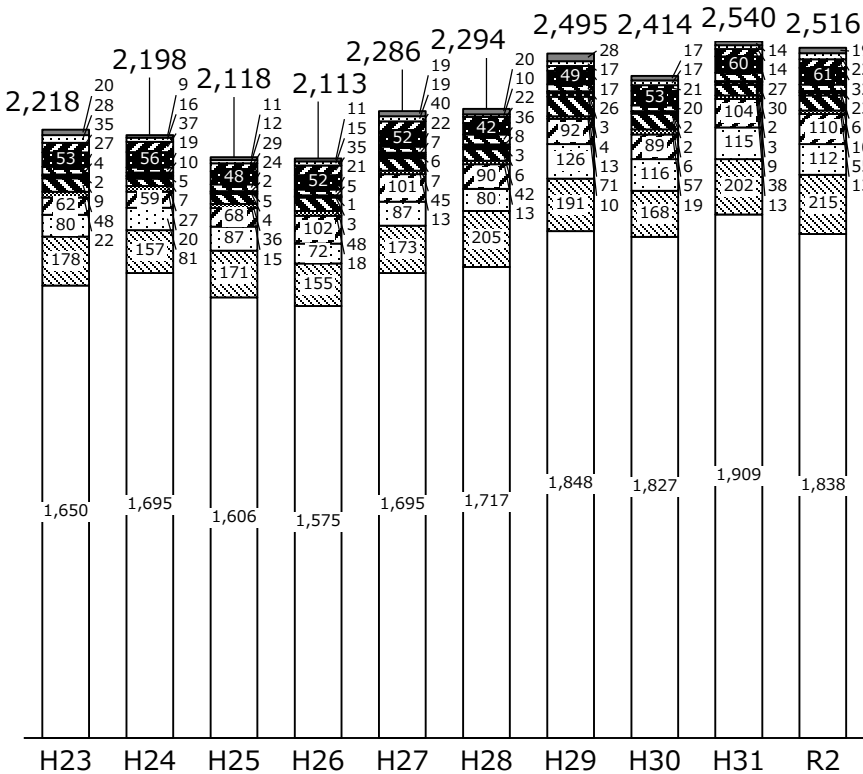
- 柏市内の医療機関による看取り件数は増加傾向にあるが、割合は75%前後で推移している。
- 他市では、松戸市、流山市、我孫子市の割合が高い。

実数

割合

(単位：人) □ ①柏市 ▨ ③流山市 ▩ ⑤野田市 ▪ ⑦白井市 ▫ ⑨千葉市 ▬ ⑪東京都 ▭ ⑬埼玉県
 ▮ ②松戸市 ▯ ④我孫子市 ▰ ⑥鎌ヶ谷市 ▱ ⑧印西市 ▲ ⑩その他の千葉県内自治体 △ ⑫茨城県 ▴ ⑭その他の都道府県（国外・不詳含む）

(単位：%)

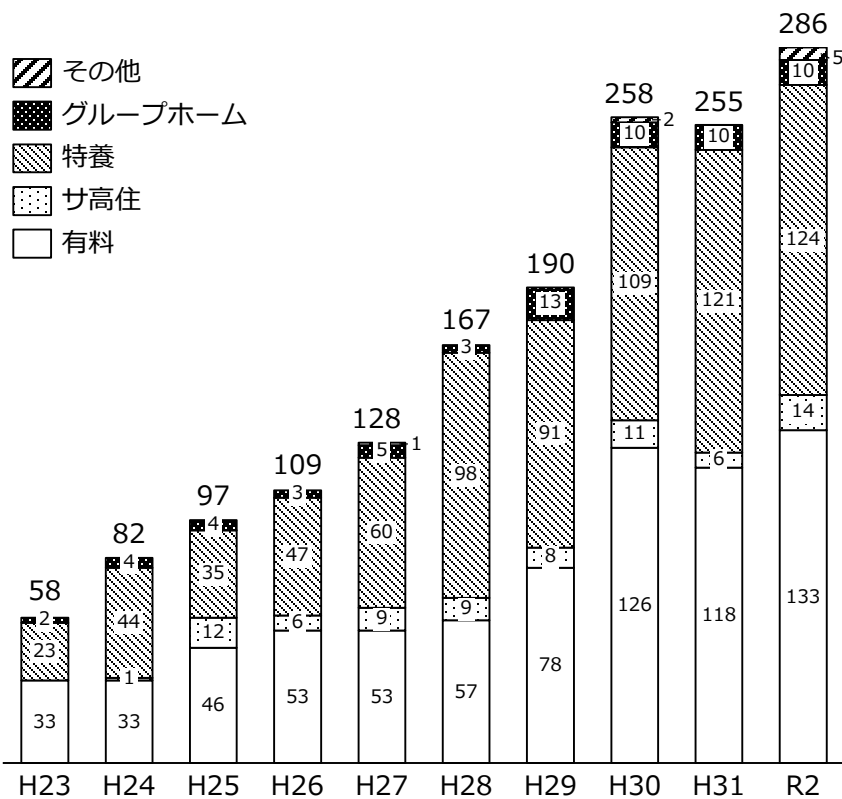


老人ホームの種別ごとの看取り件数の推移

- 特養及び有料での看取り件数は増加傾向にある。

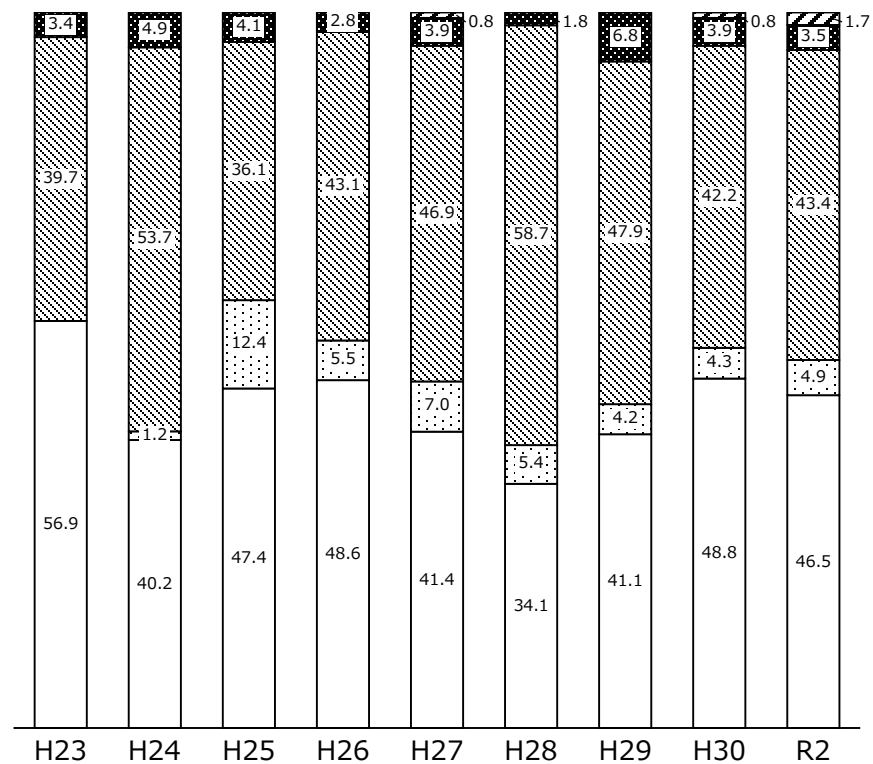
実数

(単位：人)



割合

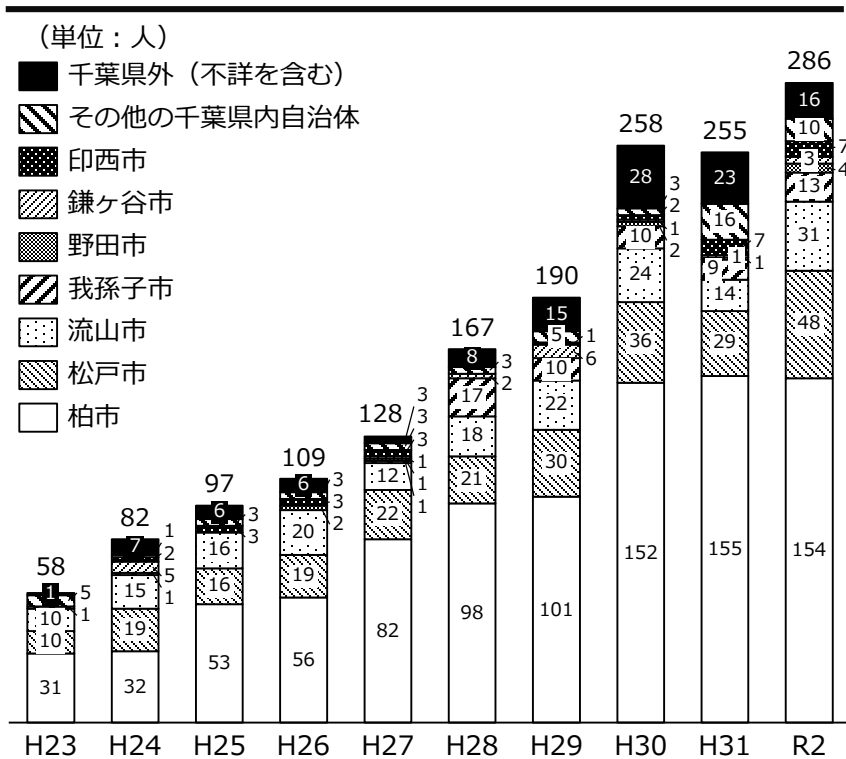
(単位：%)



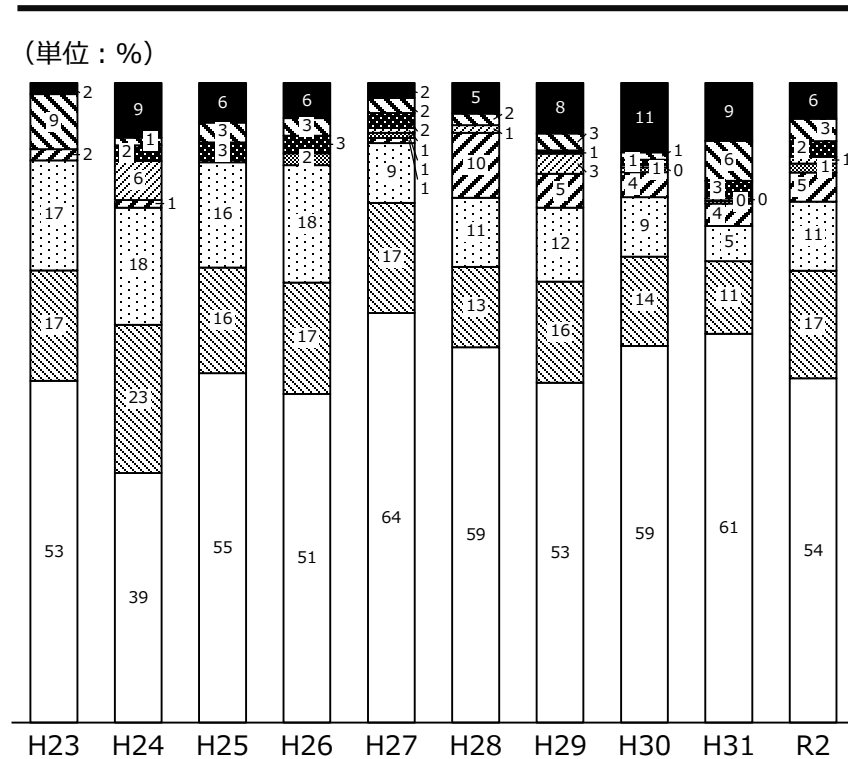
老人ホームで看取りをした医療機関の立地ごとの看取り件数の推移

- 平成30年以降、柏市内の医療機関による看取り件数・割合は横ばいで推移している。

実数



割合



市内のエリア別の“老人ホーム”看取り死数の推移

- 平成23年と比較すると全てのエリアで大幅に増加している。

